

「総合情報インフラ会社の強みを生かし、地域での暮らしが豊かになる番組、情報コンテンツ、システムを企画・立案せよ」



Dグループに与えられた依頼は「総合情報インフラ会社だからこそできる情報システムの提供による、地域での暮らしが豊かになる提案」であった。

そこで我々はLCVがテレビ放送局であり、ネット回線などを提供するインフラ総合会社であることを考え、新たに利用者に向けて投入される情報機器とテレビを利用した、地域限定の動画投稿サイトという新たな情報コミュニケーションの場を作り上げることを提案した。

この提案に至ったのには次のような理由がある。

1つ、地域の情報・イベントを見たい、知りたいのはその地域に住む人間であるということ。例えば地域の学校の運動会の映像を他の場所に住む人間がみたいと思うだろうか、地域限定にすることにより知りたい、見たいものに集中させることができるはずである。

2つ、情報を知ってもらうための手段として有用であるということ。地域活性化のために魅力的なイベントをおこなったとしても、広く知ってもらわなければ意味が薄い。映像というものはおおまかな雰囲気伝えるのに優れている、百聞は一見にしかずという言葉が表す通り、どんな魅力があるのかを伝えるには見てもらうのが一番なのである。これはイベントなどに限ることではない例えば小さな企業などではどんな風に仕事をしているか分からない、ということが就活生や学生には往々にしてあるものだ。そこで職場の風景を見ることができるようになれば学生にとっても企業にとっても有用な手段となるのではないだろうか。

3つ、コミュニケーションの場として利用できること。このサービスを利用するのは、どこかのだれかではなく地域にすむ身近な人である。投稿されるのは、イベントの様子であったり、あるいはペットの姿であったり料理の動画のような個人的なものかもしれない。そこにコメントや評価をつけたりすることで、一人で楽しむのではなく他人と楽しみを共有するという新たな価値が生まれるのである。

以上の3つにより我々は「地域限定動画投稿サイト」を提案したのである。

次にテレビと新規情報端末を利用することに関するメリットについて述べたいと思う。

我々が念頭に置くものに「共有」というものがある。おもしろいものは1人より2人、2人より3人で見ることによりおもしろくなるはずである。動画をテレビの大きな画面で見ることによって家族での共有を進めるのである。しかしそこで一つの問題が生じる、操作についてである。そこで我々は新規情報端末 smartTVbox とタブレット端末を利用して、あたかもタブレットをコントローラーのように利用することを考えたのである。テレビ側 (smartTVbox 側) とタブレット側の双方を別のアプ

リケーションで動かすことで、疑似できにつながって操作できるようにする。これにはいくつかの利点がある。

当初テレビのリモコンで操作することも考えたが、これはあまりにも使いづらく、面倒なものであったためタブレットを利用することとなった。これによって、よりスムーズで感覚的な動作が可能になる。



タッチやスライド、フリックなどタブレットならではの動作が可能となり、テレビ側とタブレット側が独立して動くので文字を打つ際にタブレットの画面が隠れてしまうのもテレビ側で動画を再生しているので問題ない、さらに動画を見ている最中にタブレットで他の動画の検索を続けられるというこの操作方法ならではのメリットがある。

それ以外には他の似たサービス、サイトと差別化のために、このサービスの利用者がLCVの加入者であるためその登録情報を用いることで動画サイトにありがちなユーザー登録などの手間を省き、より便利にする。

スマートフォンで撮った動画をアプリを用いてテレビ側に送って大きな画面で、家族みんなで確認、編集などを行なえるようにする。

動画に地域名タブをつけて地図検索で指定した地区の動画をピックアップするようにして、より地域密着型であることの利点を前に出す。

など、ユーザーがより使いやすいもの考えた。

我々の提案は、いままで流れた番組を見る、という一方で受け身なものであったテレビを、smartTVboxを利用して、みずからつくりだし発信するという双方向的なものとし、地域の新たな情報コミュニケーションの場を提供して、住む人たちに自分たちの住んでいる土地の、人々の良さを知ってもらい、日々の何気ない生活が少しでも便利に、彩あるものとなれば幸いであるとの提案をさせていただいたものである。